

ふくし講演会

南第二地区福祉委員会

「若年性認知症」とともに 生きる本人と その家族からのメッセージ

日本社会の急速な高齢化に伴い、2025年には65歳以上の認知症の方が約700万人になると予想されています。また、65歳以下の若い方でも「若年性認知症」を発症する人が増えており「認知症」は決して他人事ではありません。

今回、南第二地区福祉委員会では「若年性認知症」とともに生きるご本人やそのご家族をお招きし、その想いや活動を聞くとともに、いきいきと暮らしていくためのヒントを学ぶ講演会を企画しました。一緒に考えてみませんか。

参加費
無料

～認知症になっても暮らしやすい地域を目指して！～

定員70名

予約不要
当日先着順

[日時] ▶▶ 平成31年 2月 9日(土)
午後2時～4時 (受付:午後1時30分～)

[会場] ▶▶ コミュニティセンター4階 大会議室

[講師] ▶▶ 若年性認知症の人と家族と地域の
支え合いの会「希望の灯り」
あか

しもその まこと
下園 誠氏 (希望の灯り 代表)

そねかつ かずみち
曾根勝 一道氏

そねかつ しげみ
曾根勝 重美氏

いとう ひろみ
伊藤 広美氏



※大雨・暴風警報等が発令された場合は中止となります

《主催》南第二地区福祉委員会／大阪狭山市社会福祉協議会

《問合せ》072-367-1761

指定管理者
わかんぞんソレイリス
18.12.12
受付